

轟小だより



令和5年度テーマ「わくわく」～一人一人の願いを実現する轟小学校～

R6.1.25 1月号

児童も、家庭・地域も、職員も幸せな学校に（轟小は3台の車が一つになって前に進む）

発行 日光市立轟小学校

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

まよめの3学期が始まりました。今学期のテーマは「みんなで未来の学校をつくろう」です。これまでに育った主体性や企画実践力を活かし、子ども主体・自治的組織の学校づくりを目指します。

振り返ると多くの方々にお世話になりました。今回は、子ども達の学びを支えてくれた方々の特集です。

《様々な学習活動を支えてくれた方々》



版画ボランティア。版画の様々な技術を教えていただきました。



書道ボランティア。書道を学ぶ3年以上の全学年に入ってくれました。



裁縫ボランティア。慣れない運針も、安心してできました。



敬老会の皆様。一緒にグランドゴルフをしました。一打一打の正確なスイングに歓声があがりました。



イワナの学習ボランティアの皆様。魚が住みよい環境を学び、イワナの稚魚の放流も行いました。



6年生が、茶道の大家から茶道の教えやお手前を学びました。4日間教室で学んだ後、最終日は講師の先生の茶室でお茶会を開催させていただきました。全てが本物の環境の中、忘れられない経験となりました。



《地域の方々から学んだ「とどぽんタイム」》

「とどぽんタイム」は、地域で活躍される方々のお話を聞き、自分の生き方・考え方を深めていく時間です。



世界の名峰キリマンジャロに挑戦したときのお話を聞きました。



ご自身のお仕事についてお話していただきました。



地域の伝統行事：獅子舞を紹介していただきました。



夜空に見える星や、神秘的な宇宙のお話を聞きました。

《学校の心強い味方》

様々な御支援・御協力のおかげで活気ある日々が送れました。



月1回、朝の読み聞かせをやっていただき、気持ち良くスタートできました。

毎日毎日、交通指導員さんに見守られ、安全に登校することができました。



華道の体験教室を実施。華道の教を学びながら楽しく作品づくりができました。

3年ぶりの地域ギャラリー開催でしたが、地域の方々からたくさんの作品を寄せていただき盛況に開催できました。



掲載した他にも、たくさんの方々のお世話になりながら本校の教育は成り立ってきました。今年度はコロナ禍から明けて、以前の地域連携活動を取り戻したく努めて参りましたが、どれも皆、地域の皆様の御理解・御協力のおかげで実施することができました。特に、学習成果発表会に開催した地域ギャラリーは、3年間のブランクを感じさせないほどたくさんの出品があり大盛況となりました。このような華々しい取組ができた一方で、敷地内の樹木の剪定・校庭の砂地の整備等、子ども達が安心安全に過ごせる環境整備に人知れずお手をかけてくださる方々もおられ、ほんとうに有り難く思います。

さて、年度末が近づき、子ども達も一年間の自分の成長を振り返る時期になりました。成長を自覚するとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちも芽生えており、間もなく「感謝の会」の企画が始まります。感謝の気持ちをどのような形で表現するか、子どもたちの取組にどうぞご期待ください。

1月14日～16日、4、5年生が海浜自然の家で2泊3日の宿泊学習を行いました。その様子はホームページを御覧ください。

